

エネルギーをテーマに
持続可能な地域づくり・
事業づくりを学び、
地域の資源や人材をつなぐ

ひょうご 地域課題 × エネルギー 実践スクール



但馬・丹波
地域

HYOGO
REGIONAL PROBLEMS × ENERGY
PRACTICAL SCHOOL

第3期生募集 [2017年10月 ▶ 2018年9月]

[サスティナビリティ・オーガナイザー：持続可能地域士 認定講座]

再生可能エネルギー・省エネルギーを1つのテーマに、但馬・丹波にある具体的な地域課題の解決を目指す事業を多様な業種・スキルをもつ受講者とともにチームで学び、検討するスクール。先駆的な実践者のアドバイスも得ながら、これからの但馬・丹波に必要な「持続可能な地域づくり」を率先してすすめる人になりませんか？

キックオフ講座(募集説明会) 参加無料

9/8(金)19:00～20:30 定員:50名
場所:豊岡市民プラザ(アイティ7階)
9/9(土)13:30～15:00 定員:50名
場所:丹波の森公苑セミナー室

講師:森 大嗣氏 NPO法人地域再生機構 理事、(株)森の仲間たち 代表取締役
1982年生まれ。京大大学院農学研究科市民農学シンクタンクで講座・研究に携わった後、地域に根ざして山村再生に取り組むことを目指し、NPO 法人地域再生機構に転職、幹事役のコーディネーター、協議会の幹事やインターン導入コンシェルジュを務め、その後、オーガナイザーとして導入する民間企業の仲間たちを支援し、各地の企業と協力し販路開拓を行い、山村への新プレイヤーの導入を行っている。



募集説明会 参加無料

9/6(水)15:00～16:30 定員:20名 場所:香住文化会館第1会議室
9/14(木)15:00～16:30 定員:40名 場所:和田山ジュビターホール2 研修室
*修了生、受講生がゲストとして登場予定。

説明会参加希望の方は裏面の事務局
問合せ先まで、3日前までに①お名前
②ご連絡先をご連絡ください。

詳しくは Web で

主催: ひょうご持続可能地域づくり機構(事務局:一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所)

©これまでは、環境省委託事業としてひょうご持続可能地域づくり実践者育成講座(名称で2015年度から実質実施してきたものを名称・内容でリニューアルして実施するものです。

応募期間

2017年8月7日(月)
▶▶▶ 9月18日(月・祝)

応募方法

応募書類をウェブサイト(<http://hso-t.com>)よりダウンロードし、下記
問合せ先(office@hso-t.com)へメールで送付。
講座のみ受講希望者は氏名・連絡先を下記問合せ先(office@hso-t.com)
へメールで送付。詳しい参加方法等をご連絡します。

受講対象者(受講資格)

- 再生可能エネルギー導入、省エネルギー推進事業に関心があるとともに、地域の課題解決や地域貢献に取り
組みたい、事業や活動を起こしたいと考えている事業者・個人
- 工務店、設備事業者、林業事業者等
- 地域事業者の支援やサポート等を行う金融機関、中小企業診断士等
- 地方公共団体(自治体)職員など行政職員

社員・職員研修の
機会としてオススメ

□講座内容に関心があり、地元で貢献したい、地元で仕事をしたいと希望する学生(高校生以上)
※受講者の居住地・勤務地に制限はありません。全国からご応募いただけます。ただし、受講者選定にあたっては兵庫県内但馬・丹波
地域の方を優先する場合があります。

受講料

▶通年(講座・演習)受講
個人:30,000円 / 35歳以下社会人:20,000円 / 学生(高校生以上、25歳まで):無料
法人:50,000円(1回の講座につき同法人から2名参加可:講座・演習とも対象)
※控除旅費の一部など、上記以外の実費負担があります。

▶講座のみ受講

1講座 3,000円(演習には参加不可) ※1講座から参加可。
※講座・演習及び1年間の専門家等による伴走支援は実費30万円相当の講座ですが、(公財)ひょうご環境創造協会からの補助により
上記金額で受講いただけます。

お申込から受講開始までの流れ

応募書類受信→応募書類による選考(地域性、公益性等)→受講決定通知(9月下旬)→受講料のお支払い→
開講式出席(10月5日) ※講座のみ受講の方は、原則開催日の1週間前までの参加申込・参加費は当日支払

問い合わせ・応募先

ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)事務局
(一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所(Hst)担当:戸田、中川、霜倉
E-mail office@hso-t.com 電話 06-6205-3600 (株)地域計画建築研究所(アルバック)
※原則メールでのお問い合わせをお願いします。

Message

平成29年3月に策定した「兵庫県地球温暖化対策推進計画」では、温室効果ガスを
2030年度に2013年度比28.5%削減という国を上回る目標を掲げており、県民全体で
低炭素社会づくりに取り組んでいきたいと思います。

そのためには、再生可能エネルギー、省エネルギーの導入など新たな事業を自ら立案・
推進できる人材が必要不可欠です。本講座で得た幅広い知識・知見をもとに、主体性を
持って、地域のため、地球のために活躍する担い手が輩出していくことを期待しています。

兵庫県環境部長 秋山 和裕

環境を良くすることによって経済が活性化します。そのことが誘因となって、環境を良く
する行動がさらに広がる。

「コウチも種める豊かな環境づくり」を目指している豊岡市では、環境と経済が
共鳴する関係を「環境経済」と名付けて、その実践を広げる取組みを進めています。最大の
ポイントは、持続可能性です。

ぜひ、皆さんも持続可能な地域づくり、事業化づくりに一緒に挑戦してみましよう。
豊岡市長 中川 宗治

21世紀はエコの時代です。エコはエコロジーであり、エネルギー問題もエコロジカル
に捉えれば、人と自然の共生は達成することができます。エネルギーは人の社会と
文化を支えると共に、生きものとしてのヒトを支えています。生きもの感覚を葆ちながら、
エネルギー問題を捉え、持続可能な地域を創る。そのような場を共有してみませんか。

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科
研究科長・教授 江崎 保男

ひょうご持続可能 地域づくり機構(HsO)とは

当機構(HsO)は、人間的課題となりつつある気候変動
対策や生物多様性の保全と、地域の持続に向け、地
域が中心となって取り組むため、環境省の人間形成モ
デル事業を契機として2015年に兵庫の但馬・豊岡
の地で発足し、持続可能地域士(サステイナビリティ・
オーガナイザー)の育成に取り組んでいます。

構成:兵庫県、豊岡市、兵庫県立大学、農父市、朝来市、
香美町、新温泉町、(株)地域計画建築研究所(アル
バック)、(一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所

【執行/アドバイザー】

豊岡市立会館所長、豊岡市長 会、(株)但馬銀行、但馬
信用金庫、NPO法人コノコト市民研究所、NPO法人
暮らしのエコをすすめる但馬の会

【理事・監事】

上田 高 (豊岡市 環境経済部長)
江崎 保男 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント
研究科 研究科長・教授)

連絡 栗二 (兵庫県農政管理課 環境創造課長) ※監事
土川 浩治 (兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学
教授)

畑中 直樹 (株)地域計画建築研究所 役員 大阪事務所
副所長) ※代表理事